

《 その他<sup>た</sup> 》

はくぶつかん びじゅつかん けんがく  
(1) 博物館や美術館などの見学

め ふじゆう ひと はくぶつかん びじゅつかん たの かた さわ かん  
目の不自由な人の博物館や美術館の楽しみ方としては、触って鑑

しょう てんじぶつ てんじひょうき さくひんかいせつ め ふじゆう ひと  
賞できる展示物や、点字表記による作品解説、目の不自由な人も

さんか はくぶつかん びじゅつかん てんじ しょうかいさっし  
参加できるワークショップ、博物館・美術館の点字による紹介冊子、

つか おんせいあんない ふじゆう ひと さくひんてん  
レシーバーを使った音声案内、目の不自由な人による作品展などが

かくはくぶつかん びじゅつかん め ふじゆう ひと たの と  
あり、各博物館や美術館では目の不自由な人も楽しめるような取り

く はくぶつかん びじゅつかん しょくいん てんじさくひん  
組みがなされています。博物館・美術館によっては職員が展示作品

あんない かんない てんじ か た  
の案内をしてくれるところや、館内の点字ガイドブックを貸し出し

さくひん おんせいあんない はいりょ げんざい  
てくれるところ、作品の音声案内などの配慮があるところは、現在、

おお こんご おお はくぶつかん びじゅつかん め ふじゆう かた  
多くはありません。今後は多くの博物館・美術館で、目の不自由な方

はいりょ すす きたい  
への配慮が進むことを期待しています。



いわてけん て み はくぶつかん かんしょう ひと てんじさくひん  
岩手県にある手で見る博物館を鑑賞している人と展示作品